

した。

国際奉仕 澁岡 茂

中条財団委員に代わって報告いたします。今ほど要請されまして、戸惑っておりますが参加して勉強した所をお伝えいたします。巻クラブの委員長が我クラブは入会しやすく退会もし易いとユーモラスを交えて話されました。本来であれば新入会員にロータリークラブの趣旨、目的等が理解され例会出席が楽しくなれば、後は自分自身でその他の目的達成に喜びを感じられるのではないか。退会することなく会員相互の親睦が最終目的と感じた次第です。梨本先輩よりも的確なるロータリー精神が参加者全員に伝えられました。その一環に国際奉仕（ロータリー財団、米山奨学）があります。趣旨、目的達成のためにも財団、米山へボックス協力をよろしくお願いもうしあげます。

会 員 の 声： 大竹保男会員

季節はずれの話ですが、ホテルの話です。6月の末から7月初めにかけてここ2、3年裏の用水路からゲンジボタルが大量に発生してお客様の目を楽しませてくれました。今年も同じように出てくれると思い、2月頃に「ホテルの夕べを」計画してお客様を募集したところ大勢の方から申込みを頂きました。

ところが今年は6月20日にはぜんぜん、6月末になっても出ない。計画の7月7日七夕様の日になってもポツポツ。北海道からの参加者もあり柄沢さんの奥さんと元事務局の五十嵐さんも参加されていて、今年はダメでしたでは済まされないので、あちこちホテルを探してようやく見つけた場所へマイクロでご案内しました。たんぼの真ん中に駐車して自動車のハザードランプを点滅させるとあたり一面から湧くように自動車めがけて集まってきます。まるで空の星が自分に向かって集まってくるように見え、今風の言葉を使えば「感動的」でさえあります。ほとんどがヘイケボタルで自動車の点滅に良く反応して自動車のランプや、近くにいる人の体にも何匹もとまったりして、お客様からはそれなりに喜んで頂きました。

今年はダメかと思って諦め始めたところ、7月10日頃になって数はずっと少なかったが、それなりに発生してくれたので、雌5～6匹と雄20～30を捕まえて虫籠に苔と一緒に入れておき、時々霧吹で苔を乾かさないように管理していました。毎晩夜になると一斉に光り、かなり明るくて「螢の光窓の雪」の歌詞を思いだしたりしました。管理はわりあい簡単で、草を少しと霧吹きだけで餌は不要です。25日には全部全滅したので虫籠の底に5mmほど水を入れ、ときどき霧吹きだけをしていたら、8月の4日から孵化を始めました。

幼虫は非常に小さくて、肉眼では黒い点位にしか見えません。スポイトで一匹ずつ数を数えながら別に用意した水槽に移します。8月の4日に260匹、8月の5日に1,100匹、その後200～400匹ずつ毎日生まれました。最後が8月20日の10匹まで計4,200匹ほど数えました。水槽に移してしまうと、夜行性ということもあり居るのか居ないのか見えなくなってしまう。餌のカワニナを捕ってきては与えているのですが、水に落としてやるとまもなく玉になって群がっているのですが、と

山 崎 勲 君 大橋さんの入会を歓迎致します。

米 山 忠 俊 君 いつもお世話になっている小田さんのとなりにすわりました記念に。

外 山 清 一 君 大橋さんの入会大歓迎です。

久 保 博 君

石川勝行君 ようやく、すずしくなりました。食欲の秋もまもなくです。運動不足にならないよう頑張ります。

佐藤文夫君 新入会員をかんげいします。

山上茂夫君 ①新入会員を歓迎して…併せて②田中先生しばらくです。会長時代はお世話になりました。残念ですが出張の為、早退させていただきます。

小田登志男君 日頃の御協力、御謝申し上げます。恐れ入りますが、更なる御協力を切に御願い申し上げます。

駒 形 実 君 昨日は、新入会員歓迎会を開いて頂き有難うございました。諸先輩のお話し有意義でした。

*本日の食事：アボガドのヴィシソワーズ、舌平目のムース詰香草ソース、サラダ、ヨーグルトフロズン

新入会員 プロフィール：

氏 名 大橋 政雄

生 年 月 日 昭和24年1月3日

会 社 名 丸新土地建物（株）

役 職 名 代表取締役

会 社 住 所 三条市島田2-8-16

T E L 33-2999

F A X 33-4132

自 宅 住 所 三条市西四日町4-7-5

T E L 34-3030

家 族 構 成 和子（妻）レナ（長女）杏奈（次女）

I・M報告会：

会長 山崎 勲

3日日曜日吉田町の吉田産業会館で、ホスト吉田ロータリークラブで開催されたIM（都市連合会）に新会員の駒形さんを含めて26名で参加して来ました。

開会は1時30分からで開会挨拶、点鐘、国歌斉唱、歓迎挨拶、ゼネラルリーダー・地区役員及びパネラー紹介、参加クラブ紹介、アシスタントガバナー挨拶、ゼネラルリーダー基調講演と標準的なプログラムで行われました。2時20分からはフォーラムが行われ、パネラーは各クラブ会長、コ



ーディネーターは長谷川アシスタントガバナー、アドバイザーは藤田ゼネラルリーダーの元で行われましたが、先ほど会長挨拶の中でも述べましたが、会員獲得の手段、実績などで話がまとめられてしまいました。会場からの意見も求められましたが、意見を述べる方も少なく、やはり会員獲得の手段、方法などの意見で終始しました。3時50分からは地区役員からの連絡、次期IM開催クラブ会長挨拶、閉会挨拶、点鐘で無事IMの全行事が終了いたしました。

4時20分からはアトラクションとして長谷川蜜さんのシャンソンコンサートが開かれ、久しぶりに高尚な音楽を聴かせていただきました。5時からは当日のメインイベントと言われる懇親会がゼネラルリーダー藤田説量さんの乾杯で盛大に開かれ、吉田クラブのご婦人方、吉田、弥彦の芸者さんのお酌で盛り上がり、懇親会の時間いっぱい楽しんで、三条三クラブ一緒にチャーターした大型バスで帰り、それとなくもう一杯と言うことになり、季の味さんに寄り、破格の値段で二次会をして三々五々帰りました。

有意義な一日を過ごさせていただきましたことを感謝申し上げますと共に、来年は北クラブ主管のIMを三条で開かなければならないと言う重責を受けて参りました。北クラブとしては、本年度の内に会長エレクト木宮さんのもとで実行委員会を設置し、実行委員長の選出、各役員の選出などを行い、来年度早々に案内状を発送できる態勢を作らなければなりませんので、割り当てられた役目を十分こなして行くようお願い申し上げますIMの報告とさせていただきます。

クラブ奉仕A 木宮 隆

期せずして、我が北クラブが来年度I・Mを主催する順番になっているらしい。そんな関係で今回のIMでは式の進展を最後まで居眠りを我慢して見るハメとなった。

第四分区10クラブから200人余のロータリアンが集い、日頃なじみのない分区内の同胞と親交を深める。

壇上に沈座します“やんごとなき”諸先輩の言をまつまでもなくIM開催の主旨は親睦、交流、交換ということのようだ。

しかし現実には会員同志が一番うちとけて交流できるはずの懇親会の席ですら話す相手といえば同じクラブの仲間が専らで他クラブの会員といえはせいぜい昔なじみや同級生といった類でしかなかったような気がする

次年度は主催クラブとして、IM本来の主旨をいかに満足させるかに主眼を置いた企画を実行委員会を発足させて充分配慮してみたい。とはいえ、移り気で飽きっぽい性格上、途中で面倒くさくなって、投げ出すかも知れず、この発言はあくまで仮の発言として受け止めて置いて下さい。

いずれにしても弾力的に（実に便利な言葉!）対応していきたいと思っております。

クラブ奉仕B 梨木建夫

山崎会長、木宮クラブ奉仕（A）委員長が今回のIMについてほとんどを報告されましたので、私は藤田ゼネラルリーダーのお話やフォーラムの内容について触れ、少し感想を述べさせていただきます

す。

藤田説量ゼネラルリーダーの基調講演は相変わらずのユーモアと拡張の高さを織り交ぜての名調子で聞く人になるほどと思わせるすばらしいものでした。最初に御自身の事を「話す化石」であると称せられそれから外国と日本の文化の違い「狩猟民族」VS「農耕民族」に始まり宗教上の争い等々、経済が30年が限度で斜陽に変わることなどをお話頂きました。又ボランティアとは「自分の意志で行動を起こす」もので他の人や物理的に突き動かされてするものではない、自然発生的に自ずからとの話でありました。又「知る物は言えず、言わずは知る」という2500年前の中国の格言にあるように、喋る奴はダメで黙っている者はすごい、/というようなニュアンスの話で自らを戒める言葉として、かみしめるようにとの事でございました。それから「21世紀に向けリーダーの活性化を如何に図るか」というテーマでパネルディスカッションが各クラブの会長さんとパネラーに長谷川アシスタントガバナーのコーディネート（司会）で始まりました。何人目かの指名の後で、我がクラブ山崎会長が指名されましたが普段の飲み会での山崎専務らしくなく原稿等も用意され格調の高い話をされていました。又、次に一般会員の中から無差別的に突然我が北クラブの梨本先輩が指名されましたがさすがに堂々と難無くクリアーされ「うれしいと人に話したくなる」「なくてはならぬ魅力的なクラブである事」等、本質的な持論でリーダーにより自由に出入りがあっても良いのではないかというような内容の濃いお話をされました。我々北クラブ会員も胸を張って次年度のIM開催を木宮次年度会長のもとに、大成功に終わらせる様にして全会員の協力で準備万端整えお客様（同志）をお呼びしたいと思います。

青少年奉仕 西村 護

9月3日、第4分区のI・Mが吉田ロータリークラブのホストで、吉田町産業会館において午後1時30分より開催されました。長谷川日吉アシスタントガバナーの開会点鐘、国歌及びロータリーソング斉唱の後、鈴木進治ホストクラブ会長の挨拶、地区役員及び10クラブ会長の紹介の後、藤田説量ゼネラルリーダーの基調講演が30分程あり職衆を魅了する講演だと思いました。

10分間の休憩の後、パネラーに10クラブ会長、コーディネーターに長谷川アシスタントガバナー、アドバイザーに藤田ゼネラルリーダーによるフォーラムが行なわれた。テーマは「21世紀に向けロータリーの活性化を図るか」でした。各クラブとも永遠のテーマである会員増強と退会防止にとっても苦勞されている様子が感じとられ、各クラブ特徴のある報告がなされたと思いました。

山崎会長の報告は原稿も用意されとても素晴らしかったと思いました。

次期I・Mは三条北クラブがホストクラブとなるため山崎会長が次期I・M開催クラブ会長挨拶をされました。

フォーラム終了後、ロータリーの友情を深めるための懇親会に入り、終始和やかな内に6:30分に手に手つないで合唱して終了しました。

三条につき季の実にて慰労会する運びになっていましたが、用事があったので欠席させて頂きま